

あおば



147

青葉町福祉協力員会

令和5年10月6日号

東村山市社会福祉協議会

少しくつろいで、ちょっとワクワク

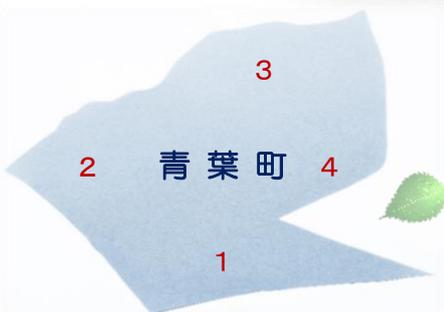
# 青葉ちゃんネル

「青葉ちゃんネル」は青葉町福祉協力員会の発行です

♥ 表紙の【青葉ちゃん】の写真を募集しま〜す。

★ 詳細は最終ページに

Aoba. 1・2・3・4 ch.



★ いよいよ 2・3 丁目 **【昼食会】**が再開♪

★ 青葉小学校 **新任の校長先生**に聞きました。

★ 青葉商店街に **隈研吾氏 デザイン**のお店が！

## 【昼食部】

10月の昼食会は  
数量限定で実施。



● 11月からの昼食会の詳細は、別途お知らせします

- 2丁目昼食会：「下堀自治会館」にて
- 3丁目昼食会：「青葉地域センター」にて
- 白十字ホームのお弁当、会費は300円です。

## 「寿賀を祝う珈琲のつどい」

- 「青葉地域センター」  
9月23/24日
- 「吉田さろん」  
10月日1/7/8日
- 町内の80歳以上の方に「珈琲ご招待券」を郵送致しました（社協より）
- ★ 尚、「珈琲ご招待券」は第1・3日曜日午後1時～の「吉田さろんカフェ」で11月末まで利用できます。



皆さまの参加を楽しみにしています！

### 《施設見学会》

- 10月30日（月）
  - 8時50分集合  
（青葉町住宅カエル公園）
  - 参加費：1,500円（昼食）
  - 国立三鷹天文台と  
“星と森と絵本の家”
- ★定員になり次第締めきります

◎ 全てのお問い合わせは **青葉町福祉協力員** まで



### 《介護予防大作戦 in 青葉町》

- 10月21日（土）10時～12時
  - 「さくらテラス」1階
  - 「ウォーキングの基本」講演  
（歩き方・呼吸法・姿勢等）
- ※講演後～空堀川まで歩いて解散予定。

### グランドゴルフ 開催

- 11月12日（日）13時集合
- 青葉小学校グランド

※ 雨天の場合は11/26(日)



### 《骨密度測定会》

☆ 保健推進員

より

- 10月31日（火）10時～12時

# 「地域の方との関係の中で“コミュニケーション能力” を育てていければいいと思います。」



房田 健 校長先生

小学校入学まで甲子園球場の近くで過ごしました。  
大のタイガースファンです。  
今でも応援に行きます！♪

## ★ 新任の房田校長先生に伺いました。

● 「私は高校を卒業して調理師として働いていました。母が幼稚園の先生をしていた関係で、よく行事のお手伝いを頼まれました。その後大学に入り幼稚園と小学校の教員免許を取得し 28 歳の時に小学校の先生になりました。」

Q: 「一学期を終えて青葉小学校の印象はありますか？」

● 「学習活動に協力的な地域の方が多いですね。子どもたちも素直なので地域の方との関係の中でコミュニケーション能力を育てていければいいと思います。」

Q: 「今後何を大切にしていきたいですか？」

● 「コロナ下で今まで当たり前に行っていたことを見直すきっかけになったと、前向きにとらえています。子どもたちや保護者の方、地域の方に喜んでもらえるように工夫・改善を続けていきます。」

(★7月下旬、青葉小学校校長室にて)



未来のために…  
“地域で子育て”  
しています。



## ★ 佐藤副校長先生に伺いました。

Q: 「房田校長先生とは以前からのお知り合いですか？」

● 「はい、昨年の青葉小学校 50 周年の時にはいろいろ教えてもらいました。その前年が東萩山小学校 50 周年だったこともあり、当時の副校長だった房田校長から参考になる情報を提供してもらいました。」

Q: 「青葉小学校の印象は？」

● 「私も地域の方々の協力でビックリしました。最近は授業にも参加してもらっていますが、学校と地域とのつながりが広がっている感じがします。」

Q: 「今後何を大切にしていきたいですか？」

● 「アフターコロナの状況で、これからのスタンダードをどうつくっていくかを考えています。行事や交流活動などを再開するにあたりどう継続していけるかです。」 (★お二人とも自転車通勤です)



佐藤 晃二 副校長先生

子どもの頃は福島市内の空き地や笹藪で秘密基地を作って遊んでいました。  
スポーツ大好きです！！



● お二人にはお忙しい中、とても丁寧に明るく質問に答えていただきました。ご自身の子どもの頃の貴重な体験を生かして子どもたちに寄り添っていることが伝わり とても嬉しく楽しい時間となりました。《聞き手: 板垣辰男》

★ ウチノ板金（久米川町）の内野社長に聞きました。

「青葉商店街のそこに行ってみたい！」  
そんなお店になればと思っています。



内野友和 社長

★「なぜ青葉町にお店をつくろうと考えたのですか？そして隈研吾氏がデザインする事になったキッカケを話してもらえますか？」

♥「私は まりあ幼稚園に通園していました。幼少期に出入りしていた場所が青葉商店街で、通った塾も青葉商店街にありました。」

♥「活気のあった頃を忘れられず、いつかあの場所で何かやってみたいと考えていました。」



グリーンバス「青葉商店街中央」前に



♥「今の物件の話があった時、  
“自分が”やらなければ後悔するな」と思いました。」

♥「契約してから1週間後に隈研吾事務所に行く機会がありました。運よく時間を作ってもらい、持っていた1枚の写真と私の“思い”だけで引き受けてもらいました。」

♥「築53年の狭い木造住宅のリノベーションを、板金屋という職人がやることに興味を持ってもらったのではないかと思います。」



♥「年内には『和國商店』をオープンする予定です。みんなが気軽に立ち寄れる“街のカフェ”として愛され続ける【コミュニティの場】となることを願っています。」

★取材担当：高橋、板垣（7月4日）ウチノ板金事務所にて



—『和國商店』—  
屋根や外壁などの板金を手がける「ウチノ板金」の工芸品ブランドで、板金の折り鶴には海外のファンも多い。

「隈 研吾」

●世界的な建築家  
代表的な作品として、  
国立競技場、高尾山口駅  
所沢サクラタウン等多数

♥表紙の【青葉ちゃん】の写真 募集要項 ★募集期間：令和5年11月末まで

- ① 募集写真：青葉町に在住・通勤している方の子ども・孫（1歳～12歳位まで）の写真
- ② 応募方法：名前等個人が特定できない写真のデータを下記アドレスに送ってください。  
※ お名前、住所、連絡先（電話・メールアドレス）を添えてお願いします。  
◎メールアドレス：[takahashi@hm-shakyo.or.jp](mailto:takahashi@hm-shakyo.or.jp)（社会福祉協議会 高橋 宛）  
写真の場合は、デジカメやスマホに撮ってデータをメールに添付してください。

## 編集後記

内野社長の強い思いと決断が人を動かし、少し疲れた商店街に起爆剤としての栄養ドリンクをいただいた気がしました。

今後も若い方のパワーと発想に少し長く生きている我々が微力ながらバックアップさせていただき、数年後には【再生青葉商店街】の見出しが紙面に踊っていることを信じましょう。（高橋茂幸）



『青葉ちゃんネル』のご感想などは、〒189-0002 青葉町 2-3-7 吉田さろん 編集委員 宛  
☎,fax /042-395-7381（板垣）迄 【編集委員】内田豊恵 藤原澄子 高橋茂幸 板垣辰男